

< 分子接合技術による革新的ものづくり製造技術の研究開発 >

(1 / 2)

< 研究実施者 >

岩手大学 工学研究科 平原 英俊

● 研究背景

- ・自動車、航空機、半導体、医療関連機器など幅広い産業分野において、新たな複合材料の開発競争が展開される中、異種材料の接合が重要性を増している。
- ・岩手大学の「トリアジンチオール誘導体による分子接合技術」が有する非材料依存性、非接合条件依存性及び非環境条件依存性によって、部品点数の少量化、工程の融合化等による新しいものづくりの提案が可能。
- ・当該技術の高度化と普及促進を進め、数多くの新しい機能性製品等の創出を展開することにより、東日本大震災からの復興と、我が国のものづくりの革新を目指す。

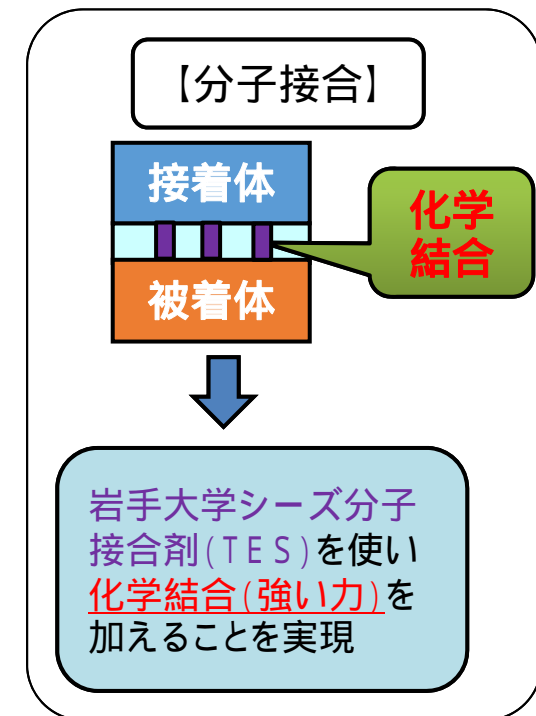
● 目標

(技術目標)

吸着官能基熱特性・化学特性評価
TESの硫黄量0.5%以上となる条件確立
加工負荷低減等の低分子モノマーを開発
低粘度複合体コンパウンドの成形加工条件検討
測定装置の開発と測定ノウハウの構築
分子接合有機薄膜の性質解明技術の解明と応用分野の開拓

(事業化目標)

事業化テーマ5件の研究開発と市場投入
加えて、新たな事業化テーマ5件以上を発掘し研究開発を推進



< 分子接合技術による革新的ものづくり製造技術の研究開発 > (2 / 2)

● 実施内容

実証試験による活用範囲の解明、接合性や易加工性を付与した材料開発、接合表面の高度化、新機能性製品の実用化等の研究開発を実施する。

● 実用化・事業化に向けた戦略、推進体制

技術移転コンソーシアムへの企業参画

参画企業への技術研修実施や研究者交流による情報交換

アドバイザーや調査事業による事業化に向け必要な情報収集

参画企業の個別事業化ニーズの把握と事業化検討

事業化研究開発の実施を展開し研究者と一体的に事業化までをコーディネート

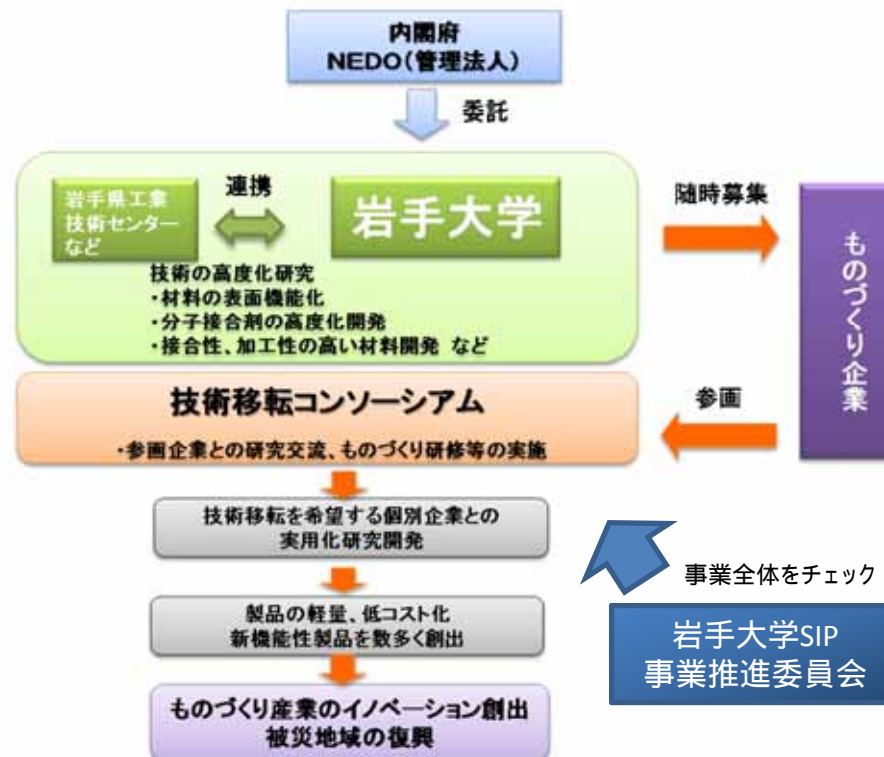
岩手大学研究者

教授	平原	英俊
教授	小川	智
教授	廣瀬	宏一
教授	大石	好行
准教授	芝崎	祐二
助教	會澤	純雄
助教	村岡	宏樹

岩手県工業技術センター

連携先企業 研究者
参画企業 ISO担当者 等

分子接合技術による革新的物造組織



ホームページ、face bookを近日開設予定 (<http://www.iwate-u.ac.jp/sip/>)